

IMRC 研究事業 文化庁メディア芸術連携促進事業連携共同事業

「マンガ原画に関するアーカイブ及び拠点形成の推進」

マンガ〈原画〉のアーカイブ——〈収集〉〈整理・保存〉〈活用〉を実践し、将来的なアーカイブ事業についてのマイルストーンを設定するとともに、その発展のための体制を推進するネットワークの構築とそのハブとなる拠点の確立を目的とする文化庁業務委託事業のコーディネイトを、IMRC が担った。

担当研究員：伊藤遊（コーディネーター）

吉村和真（オブザーバー）

事業の目的

5ヶ年計画の最終年度となる本年度の目的は以下の6点である。

- 1) 連携機関が所蔵している原画の〈収集〉〈整理・保存〉作業
- 2) 全国の関連施設による「マンガ原画アーカイブネットワーク」構築に向けた会議の開催
- 3) 「マンガ原画アーカイブマニュアル」の作成および公開の準備
- 4) 多方面からの意見集約
- 5) シンポジウムの開催
- 6) マンガ原画支持体・画材研究

連携機関・団体

- ・ 明治大学 米沢嘉博記念図書館
- ・ 北九州市漫画ミュージアム
- ・ 一般財団法人パピエ（谷口ジロー作品著作権管理団体）
- ・ 横手市増田まんが美術館
- ・ 学校法人専門学校 東洋美術学校

実施内容

IMRC / 京都国際マンガミュージアムの作業としては、4作家の原画作品および関連資料を〈収集〉〈整理・保存〉した。具体的には、内山亜紀作品の原画約20箱分他、松本い作品の原

画段ボール約10箱分他、もとやま礼子作品の原画段ボール3箱分他、あさぎりタ作品の原画約17,000点他の寄贈を受けた。

このうち、松本作品の原画約2,500点の管理用写真を撮影の上、それぞれの初出情報などの作品データを、作成した。同作業は、IMRC / 京都国際マンガミュージアムと連携を取りつつ、「株式会社ワンピリング」が担った。また、あさぎり作品の原画6,000点の管理用写真を撮影の上、それぞれの初出情報などの作品データを作成した。この作業は、同原画を管理していた「ユウブプロダクション」が担ったが、作画も担当したプロダクションスタッフが作業を行ったため、通常ではなかなか知り得ない、原画の支持体・画材情報も、メタデータとして得ることができた。あさぎり作品の原画の一部は、「創刊65周年記念 なかよし展」（於・弥生美術館、2019年10月4日～12月25日）で展示された。

同事業ではまた、忠津陽子作品の原画を借用し、精巧な複製原画「原画'（ダッシュ）」34点を作成した。（文責：伊藤遊）